

## ご挨拶

新年あめでどうございます

皆様におかれましては、ご清祥にて  
新年を迎えたことと存じあげます

昨年の県議会議員選挙では、格段のご厚情と  
ご支援を賜り、おかげさまをもちまして初当選  
を果たさせて頂きました。お力添えに心から  
感謝申し上げますとともに改めて身を引き締め  
弥富市発展のため尽力して参る所存です。

県議会においては農林水産委員会に所属し、  
農業分野の勉強に励んでおりますが、奥深い  
分野を痛感しており、一層の理解が必要と感じ  
ております。また県内では例の豚コレラの被害  
が報告され、被害にあわれた事業者の皆様には  
お見舞い申し上げるとともに、再起に向けた  
支援を全力で取り組んでいるところであります。

また令和4年開業の名古屋競馬場の弥富市への  
移転事業に関しても地元説明会の開催に向け  
競馬組合に働きかけを行い、昨年は2回開催  
できただけであります。

不十分な点もあるうかと思いますが、地域の  
声を県政に届ける大事な場として今後もご指導  
いただければ幸いです。

私としては、この競馬場を観光の視点を持って  
利用できる施設になればとの思いで、9月定例会  
の農林水産委員会で発言させて頂いたところで  
あります。

結びに、皆さまにとって誇りに思える「弥富市」  
となるよう県の立場から、努力することをお  
誓い申し上げますとともに、何よりも  
本年が皆さまにとって「安心」と「充実」が  
実感できる素晴らしい年となりますよう  
心から祈念し、ご挨拶と致します。

愛知県議会議員 朝日 将貴

愛知県議会議員 朝日 まさたか

# あさひ通信

Vol. K-02

発行人／朝日将貴

住所：弥富市五明二丁目34番地  
TEL: (0567) 65 - 1131  
FAX: (0567) 65 - 2131  
e-mail:  
info@asahimasataka.com

## 「9月定例議会」

### 7月26日の質問内容

#### 【朝日将貴】問1



9月定例議会 QR コード

2019年9月20日より  
10月15日まで

ゼロメートル地帯のための広域的な防災  
活動拠点の整備について。木曽三川下流域  
に2カ所、西三河南部に1カ所、東三河南  
部に1カ所の防災活動拠点を整備するこ  
となつておらず、現在は2カ所の整備が進  
められているが、残りの2カ所はどのように  
計画になつておるか。

#### 【災害対策課主幹】

- ・「あおり運転」対策の強化
- ・地方財政の充実・強化
- ・リニア中央新幹線の整備促進
- ・災害対策の推進 他

等々を審議しました。

#### 「安心安全対策特別委員会」

2019年7月26日

【朝日将貴】問2

いつまでに整備を行うといふことも決定  
していないのか。

#### 【災害対策課主幹】

木曽三川下流域の1カ所は、愛西市の旧永  
和荘跡地において整備を進めており、西三  
河南部は、西尾市行用町において、準備を  
進めている。残りの2カ所である東三河南  
部及び木曽三川下流域は、候補地の選定を  
進めている。



【安全・安心対策特別委員会視察】



ゼロメートル地帯のための広域的な防災  
活動拠点の整備について。木曽三川下流域  
に2カ所、西三河南部に1カ所、東三河南  
部に1カ所の防災活動拠点を整備するこ  
となつておらず、現在は2カ所の整備が進  
められているが、残りの2カ所はどのように  
計画になつておるか。

自分が被災した場合にどうすればよいのかと  
いうことを真剣に考えておられる人は多くない。  
ボトムアップ方式の避難を支援するには、  
住民の声に耳を傾ける必要がある。東京都  
江東区で新しく作成されたハザードマップ  
では、災害時にこの地域にいてはいけないと  
訴えるものとなつておらず、住民の危機感が  
高まつたと聞いている。

県内でも、そのような取り組みがこれから必  
要になると思うがどうか。

#### 【災害対策課主幹】

広域避難については、平成26年度に策定  
された東海三県一市・県境を越える広域避  
難調整方針に基づき、平成28年度の愛知県・  
弥富市津波・地震防災訓練において、弥富市  
民を岐阜県美濃加茂市で受け入れるといふ  
広域一時滞在の訓練検証を行った。

また、県の災害対策本部内に広域避難のプロ  
ジェクトチームを設置することも検討して  
おり、着々と進めている。

#### 【県への要望】

各市町村で頑張って取り組んでいるが、各市  
町村の調整を行うことは県にしかできない  
仕事なので、尽力してほしい。

【朝日将貴】問3

地元市町村や関係機関との調整があるた  
め、まだ決定していない。

弥富市には、避難所が足りていない地域が  
あり、地元で避難できない住民はどうすれ  
ばよいのかという議論がある。

東京大学特任教授の片田敏孝氏は、自分の  
命は自分で守ることが基本的には大切だ  
が、これまでトップダウン方式で避難を行  
ってきたため、住民の危機感があまり高  
くならないので、今後はボトムアップ方式で  
避難を行わなければならぬと言つていた。

【安全・安心対策特別委員会視察】  
札幌市議会・北海道議会経由  
当時のブラックアウトへの対応や  
復興状況確認



【胆振東地震

被災現場視察】

復興の現状を視察